

# ボーナスの差別賃金提案を撤回 労働条件面で一部前進

## 越教組ニュース

越谷市教職員組合  
ホームページ



埼教組・埼高教・県職で構成する地公労は、賃金等を定めるための県当局との第2回交渉を行いました。前回第1回交渉で当局より提案されたボーナスの「差別支給」は、撤回する旨の回答を得るとともに、労働条件整備に前進的な回答を得ることができました。また、定年引上げ問題や60歳超の人事評価問題、新たな研修制度問題など、多くの課題での交渉が続きます。

### 差別支給は撤回せよ

【組合】前回の「ボーナスの〇・一月引き上げのうち一〇分の一を原資に評価の賃金リンクを行う」という提案は、協力共同の精神を破壊するもの。この提案を撤回する

【県】職員の能力や実績等を適正に評価し、その結果をより的確に給与に反映していきたいという考えには変わりはない。



発言する小学校教員

しかし、今年度の賃金確定交渉において結論を得ることは困難であると思われるので、当初の提案については取り下げる。

#### 第2回地公労交渉で示された当局の主な回答

(記事部分を除く)

- ◆給料表と勤勉手当の引き上げは、人事委員会勧告の通り行う。
- ▲会計年度任用職員の報酬については、来年度から改定する。
- ▲勤勉手当のない会計年度任用職員について、期末手当の改定は難しい。
- 年休の取得単位について、30分単位で取得できるように人事委員会に要望していく。
- 勤続40年の職員に、連続する5日の範囲内で新たな職専免を承認できるよう、規定を整備する。
- 事実上婚姻関係と同様の事情にあるものを対象としている休暇などの諸制度について、同性パートナー等も対象に含めるよう人事委員会に要望する。
- 結婚休暇を1年まで、永年勤続職免を2年までに、それぞれ取得期間を延長する。
- 60歳超教職員の人事評価実施に当たっては、適切な運用及び評価結果の活用を検討する。人事評価に係るこれまでの経緯を踏まえ、引き続き組合と丁寧に協議していく。
- 新たな研修制度については、受講者の負担軽減の観点にも十分配慮しながら、これまでの組合への回答を踏まえ、引き続き誠意を持って協議していく。

越谷市は、公共施設等総合管理計画の中で、今後40年で市保有面積の39%以上を縮減するという暫定計画を定めている。保有面積の56%が学校関係施設であり、学校に大きな

令和2年度に学校施設の長寿命化計画が策定された。そこでは、学校施設の耐用年数を80年とし、20年ごとに改修を行うとしている。縮減については、大規模改修に合わせ学校の統廃合も検討するとしている。この

ン設置、体育館照明のLED化を進めねばならず(教育長)、長寿命化計画はどこかに消えてしまった。こうなると怖いのは、3学園の二の舞にならないかである。直前になって、統廃合等を

### 学校施設の整備に住民の合意を

影響が出るのは避けられない。統廃合があつたり、一部の施設をなくしたり、他の施設と併設されたりするのではないだろうか。その公共施設等総合管理計画の個別計画として、計画では、令和3年度から5カ年のうちに80棟を改修する計画だ。(裏面参照)しかし、計画のうち現在進んでいるのは、仮称浦生小学校のみである。今後は、「3学園の整備、緊急を要する改修、体育館のエアコ

### 高齢者部分休業にはフルタイム補充を

【組合】来年度から導入される高齢者部分休業のその後補充について、「フルタイムを含めて検討する」と言っていたのに、回答では触れられていなかった。勤務が週の半分の人に小学校で担任ができるのか。学校運営に支障がないよう後補充の運用を求める。

### 教員の未配置・未補充

【県】重く受け止めている。その対策の一つとして、文部科学省が実施しようとしている「産・育

### 事務・栄養職員の臨採は継続を

【組合】事務職員・栄養職員については、学校運営の継続性に配慮が必要な職であることから、臨時的任用職員の同一校継